

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リトルチャオ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 13日		～ 令和 8年 1月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 6日		～ 令和 8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 26日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外出する活動を取り入れている	店舗での買い物や、コミセンなどの公共施設の利用、公園等への外出など、地域での生活を、イメージして活動を計画、生活経験を広げるようにしている。 今年度は、施設見学も多く取り入れた。	地域の中の社会資源の掘り起こし。 地域の方と交流する機会を積極的に作っていく。
2	支援前、支援後のミーティングにおいて、一人一人に合わせた支援を職員間で考えている	時間は短くても、支援後に必ず振り返りの時間を取り、良かった支援、改善の必要のある支援について、職員間で共有している。 利用者一人一人が安心して過ごせることを第一目標に、それぞれの過ごし方、支援の方向性について考える。	限られた時間の中で効率よくミーティングを行い、情報を共有していく。記録のまとめ。
3	保護者の送迎が多く、その日の出来事を伝達しやすい	お迎えの保護者に対し、その日の過ごし方や出来事を1つ以上伝えるようにしている。	口頭で様子を伝えるだけでなく、写真やおたよりなどを作成して配布する。 製作物を一定期間で家庭に持ち帰らせ、活動のイメージを持ってもらう。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	茶話会など、保護者間の連携をサポートできていない。	中高生の保護者のニーズに合致していない。 ある程度の連携はできている。保護者が参加したくなるような内容を企画することが必要。 今年度はチャオ祭りを実施	チャオ祭りなどを活用。出会いの場を作っていく。
2	保護者の方が、支援場面のイメージが持てていない。	情報の発信が少ない。 支援場面に親が入ることを、本人たちが受け入れない場合がある。	写真やおたよりなどを使って、支援の様子、子どもたちの表情を知らせていく。
3	午前中の受け入れをしてほしい	児発があり、難しい。 ニーズに合った事業所を選べていない利用者がある。 地域の中に、必要なサービスが不足している。	協力できる部分はしていく。 必要なサービスの情報を共有していく。